

## 夏を迎え北海道産の食材も豊富に！

### 《地産地消》

地元で生産されたものを地元で消費するという意味で使われています。消費者の農産物に対する安全・安心志向の高まりや生産者の販売の多様化の取組が進む中で、消費者と生産者を結び付ける「地産地消」への期待が高まっています。

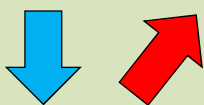
### 《旬産旬消》

これからは、「トマト」「とうもろこし」「きゅうり」などが美味しい季節です。今月から道内産の野菜類が店頭の数多く並びました。地のものを旬の時期に消費し、毎日の食卓に季節感を取り入れてはどうでしょうか。生産者さんの生活を守り、産業を守ることに繋がります。

### 《地産地消・旬産旬消の効果》

- ①農作物を運ぶ距離が短くなることで、エネルギーとCO<sub>2</sub>排出量の削減に繋がり、環境への負荷が軽減されます。
- ②私たちは、地元の野菜・魚介類などをバランスよく食べることで、健康的な食生活にも繋がります。
- ③生産が盛んになり、経営の向上に繋がります。

野菜・果物・魚介類・調味料・日用品などを毎月調査しています。  
調査品目は、65品目67銘柄となっています。  
左の価格動向表には51品目を掲載しています。  
市のホームページには65品目67銘柄を掲載していますので、ご覧ください。  
ガハリンの価格調査は、苫小牧消費者協会調べ(6月1日付け)



前月の平均価格より、5円以上の上昇や下落した品目を対象としています。  
今月の平均価格が、オレンジ色・前月の平均価格が水色となっています。